



活動状況について

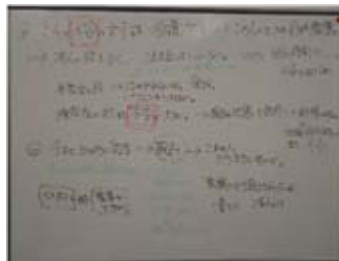
相談室に寄せられる件数も毎月増えてまいりました。しかし、その中で行政や地域包括支援センターからの相談はほぼゼロといった状況が続いています。一方で病院からはALSやガン末期の方の往診医、訪問看護を探してほしいという依頼は増えています。本当に包括支援センターにご相談があるケースは医療依存度の低い方々ばかりなのかしら・・・と疑問に思う毎日です。



事例検討会

相談室には年10回の事例検討会が義務づけられています。今月は2箇所にお伺いをし、参加をさせていただきました。事例提出される方は本当にたくさんの悩みを持たれ、本当にこのままでいいのだろうか？という疑問を持ち、ケアを行っています。

ひとつの物事をどのようにアセスメントできるかによって、対象者との関わりが違ってきますが、印象として感じるのは、対象者の情報が極めて少ないということを感じることが多くなりました。情報はもちろんあるにこしたことはないと思いますが、その情報をどのように使うかが重要なことなんだろうなあ・・・と、つぶやきでした。



市民啓発事業について



医療と介護について語ろうカフェ

「人には聞けないお葬式の話～自分らしく、備えていますか?」として、11月11日、おはな葬祭 小林雄介さんにお話をいただきました。前回に引き続き、多くの方々にお集まりいただきました。最近のお葬式事情、生前見積もりの話など普段ではあまり耳にすることのない話を伺いました。参加者の皆様からも具体的な相談が多くありました。「死ぬ」時の話、これまでは敬遠されがちな話でしたが、ここ最近では最期まで自分らしく生き抜くために皆様、積極的に参加をしてくださるお姿が印象的でした。



緑区医師会訪問診療・往診医ご紹介 (2)



2回目は三保町内科・循環器クリニックの小野文明先生です。「僕はとてもとても～・・・」といつも謙虚な雰囲気漂わせながら、往診はがっつり親身になって患者さんと関わっていらっしゃいます。先生の体験された虐待疑いケースとのかかわりの中では、看護師やケアマネジャーと一緒に悩んで悩み、考え、行政とも意見交換を積極的に行うなど頼りになる医師です。

今後の予定 (お問合せは 電話 045-937-2303)

12月3日(木) 13時 医療と介護について語ろうカフェ

12月9日(水) 10時30分 介護に関わる人の医療講座